

富士河口湖町立 教育センターだより

No.13

令和2年10月15日

文責 渡辺富美夫



友だちとの絆を深めた修学旅行 (小学校編)



西浜小, 静岡方面



河口小, 静岡方面

10月第1週, 第2週に町内小学校で修学旅行が実施されました。No.11に掲載したように, 小学校でも様々な対策を講じての修学旅行でした。方面を変えた学校も多くありました。方面を変えたことで学習内容が変わったかもしれませんが, 学び合ったり, 互いの良さに改めて気づいたり, 絆を深められたことは変わらなかったはずです。また, その土地なりの良さも感じたことでしょう。

修学旅行の様子について (小立小学校)

今年の修学旅行は, コロナ禍の中「行けるのか, 行ってもいいのか」という状況から検討が始まりました。例年行っている東京・神奈川方面は, 連日多数の感染者が出ている報道がありました。これら以外で近県であり子どもたちの学習の場となり, コロナ感染者が少ないところという条件から長野県を選択しました。春の校外学習は中止となり県立考古博物館に行くことができなかったため, 尖石縄文考古館を最初に訪れ, 国宝の「仮面の女神」の本物を見たり, 復元された竪穴住居に入ったりしました。旧開智学校・松本城・松本市内はボランティアガイドさんとともに巡りました。自分達だけでは通らない路地裏の道も歩きました。二日目は象山地下壕に入ったり, リンゴ狩りをしたりしました。もぎたてのリンゴはおいしかったです。この二日間で多くのことを体験し学びました。保護者の皆さまのご理解ご協力, そして子どもたちの努力で行くことのできた修学旅行でした。



富士豊茂小, 静岡方面



勝山小, 鎌倉箱根方面



大石小, 静岡方面



船津小, 静岡方面



大嵐小, 鎌倉箱根方面

木工教室 (後期) 始まる

木工教室の後期が始まりました。後期は3年生が主で, 鉛筆立て作りです。四角い木にイニシャルをカラーくぎで打ちます。げんのうを使うのが初めての子が多く, はじめは強く打つことができず大変でしたが, イニシャルが打ち終わる頃 (約40~60個) にはだんだん強く打てるようになり, 「トン, トン, トン」とリズムカルでいい音がするようになりました。その後は木



の実や木片で飾りつけをして完成です。最後に, 木の枝を小刀で削って鉛筆作りです。小刀を使うのはきつとお父さんやお母さんでもあまり経験がないのではないでしょうか。「小刀名人」の渡辺園長さんに, 削り方を教えていただき, 作りました。ポイントは「小刀を刃先から刃元まで前に押すように切ること」です。

木工教室 お礼の手紙
木工教室でアドバイスを
道具の使い方を教えてく
れてありがとうございました。
私は大工の子どもで
す。木工教室でのこぎりや
トンカチが使えるよう
になりました。これでお父
さんのお手伝いができる
ようになりました。